

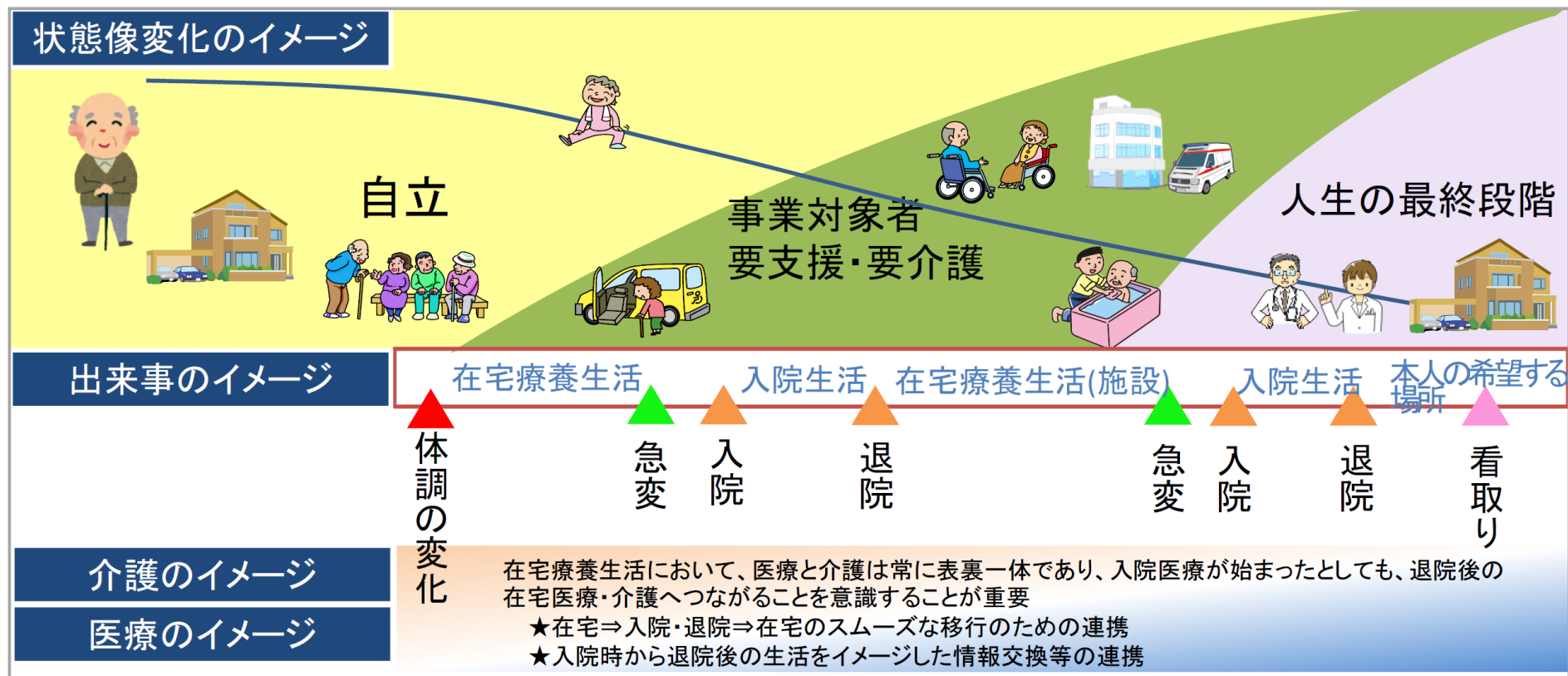
在宅医療・介護連携支援事業の取組み



「最期の時を住み慣れた場所で迎えるという選択」

ができるまちを目指して

図 8 高齢者の状態像の変化と出来事のイメージ



人生において常に健康状態は変化しています。

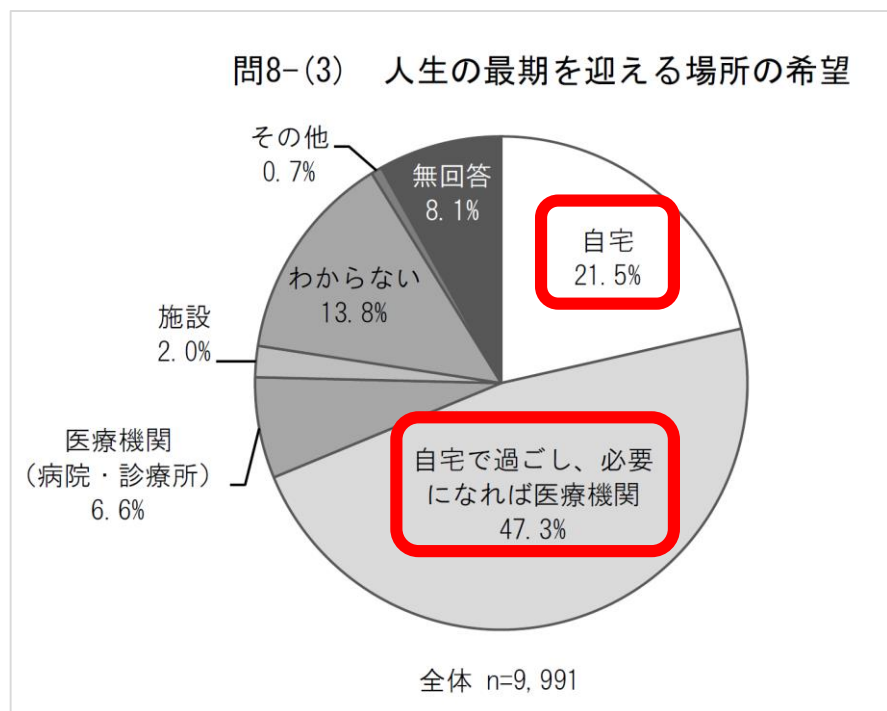
特に高齢期は日常生活において医療や介護が必要になったり、容体が急変し入院、退院を繰り返すこともあります。在宅療養中に急変して看取りになることも。

医療と介護はこのライフサイクルの中で起こりうる節目となる「場面」を意識して、連携・支援していく必要があります。

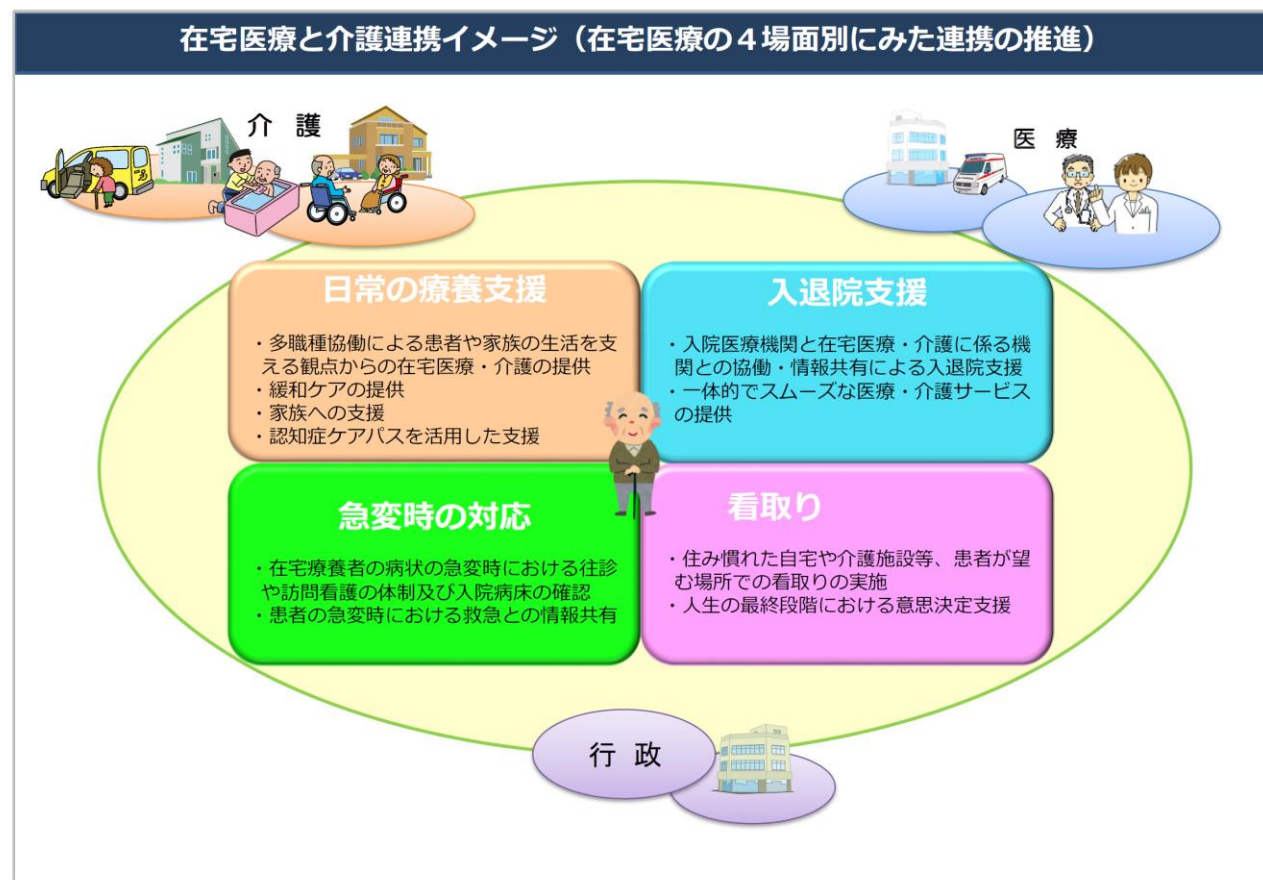
(切れ目のない在宅医療と介護の連携体制)

在宅療養者の生活の場で医療と介護を一体的に提供するために (在宅医療の4場面別にみた連携の推進)

図 9 在宅医療と介護連携イメージ



ニーズ調査報告書—いきいき・くわな R3年3月より



- ①入退院支援
- ②日常の療養支援
- ③急変時の対応
- ④看取り

4場面別にみた連携の推進 取り組み

日常の療養支援

多職種協働による患者家族の生活を支える観点からの医療介護の提供

- ・ ゆめはまネットの活用促進
- ・ 「ゆめはま医&介護連携ニュース」で情報発信
- ・ 医療と介護の多職種連携研修会
- ・ 市民向け講演会
- ・ くわな在宅医療・介護マップの更新
- ・ がん患者ピアサポートに関するカンファレンス

日常の療養支援

- ・ 多職種協働による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供
- ・ 緩和ケアの提供
- ・ 家族への支援
- ・ 認知症ケアパスを活用した支援

入退院支援

- ・ 入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援
- ・ 一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供

急変時の対応

- ・ 在宅療養者の病状の急変時における往診や訪問看護の体制及び入院病床の確保
- ・ 患者の急変時における救急との情報共有

看取り

- ・ 住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施
- ・ 人生の最終段階における意思決定支援



介護は突然、やってくる

病気にしても介護にしても、多くの人は

見たくない、聞きたくない、考えたくない

そして、ある日、突然やってくる現実。

■どこに検査に行ったらいいかわからない

■地域の医療・介護資源の情報が無い

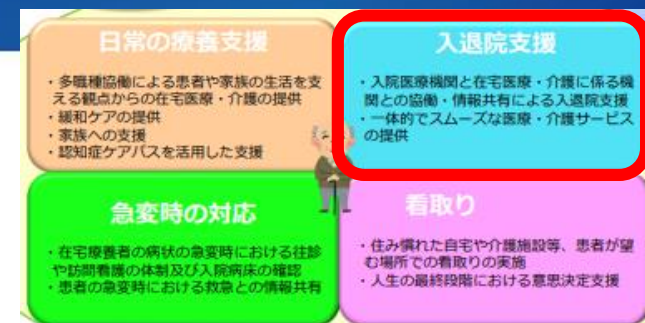
■どんな制度や支援があるかわからない

17年前までは、私もそのひとりでした。



4場面別にみた連携の推進 取り組み

入退院支援



入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との協働・情報共有による入退院支援

- ・くわな入退院の手引き
- ・共通シートの作成「入院時情報提供書」
- ・病院との多職種合同研修会
- ・三重県看護協会 桑員地区支部と合同研修会



4場面別にみた連携の推進 取り組み

看取り

住み慣れた自宅や老人ホーム等、患者が望む場所での看取りの実施

人生の最終段階における意思決定支援

- ・専門職対象にACP研修会

ACPの実践をロールプレイで学ぶ(R2)

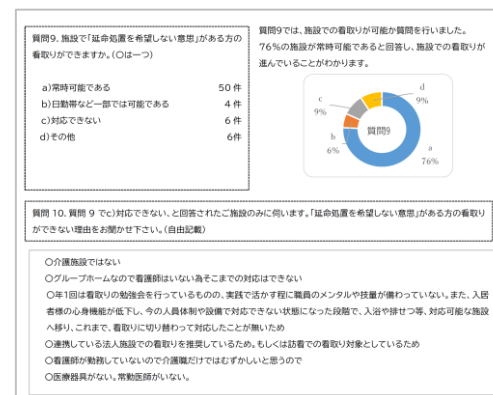
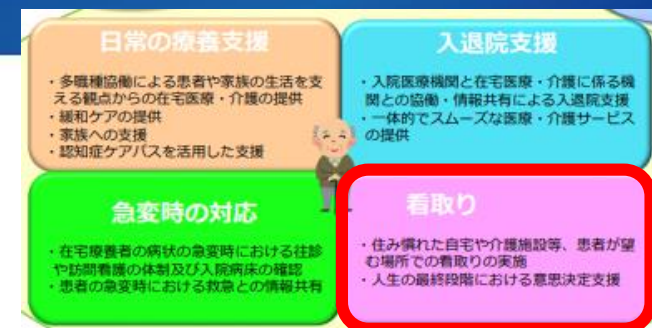
- ・施設におけるACP/多職種研修会

- ・三重県社会福祉士会桑員支部交流会 等

- ・市民普及啓発

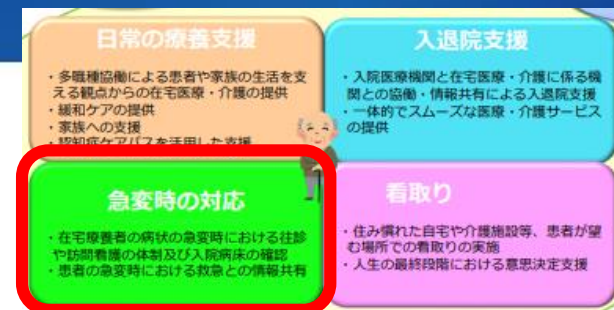
通いの場等で地域包括支援センターと

ACPリーフレットを活用し、もしバナゲーム実施



4場面別にみた連携の推進 取り組み

急変時の対応



在宅療養患者の病状の急変時における往診体制や入院病床確認 患者の急変時における救急との情報共有

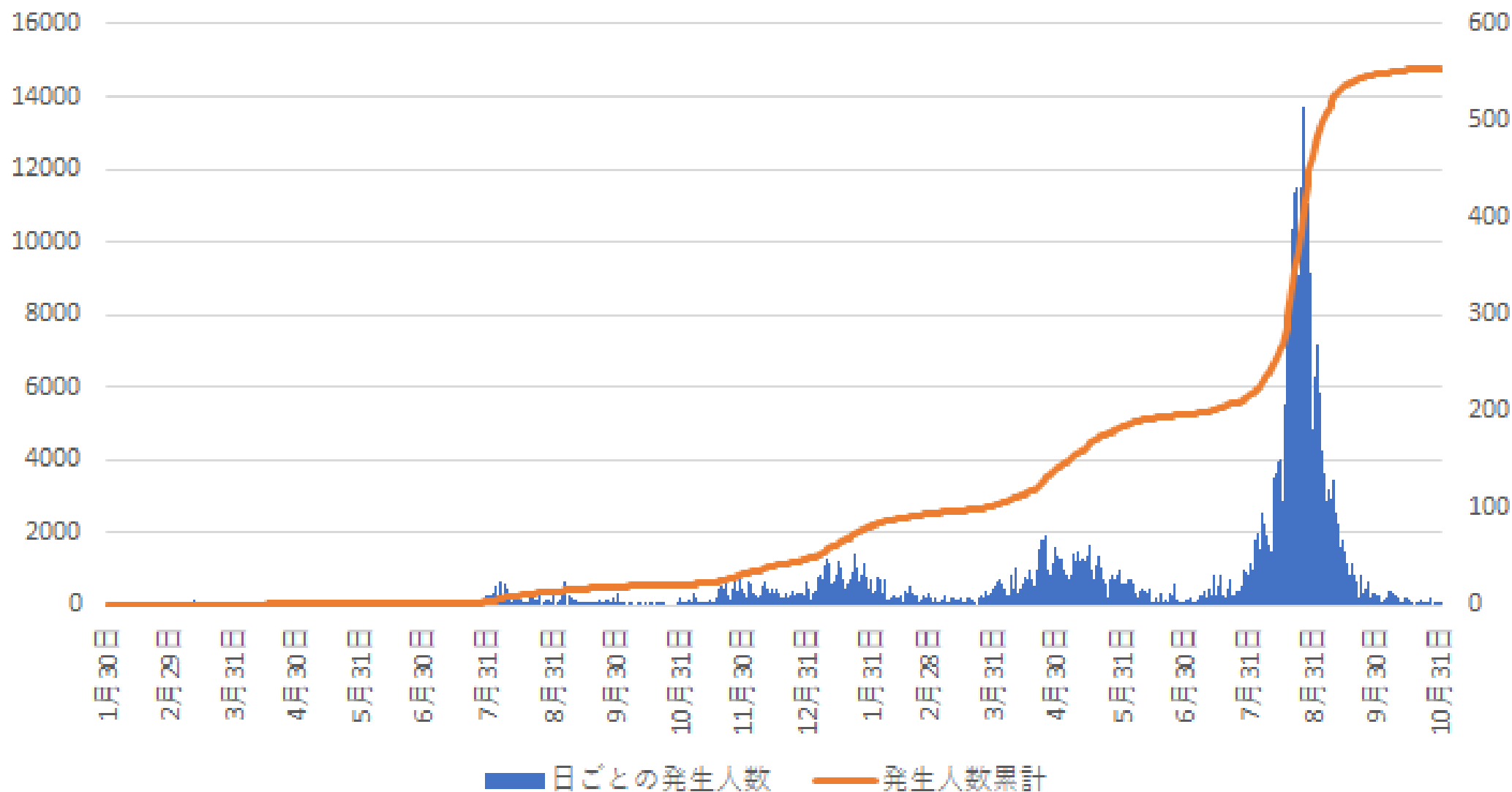
- ・後方支援ベツト
- ・救急搬送に係る課題についてアンケート、施設へのヒアリング実施(R2)
- ・桑名市・消防本部とともに、医療介護関係者向け「緊急時情報連絡票利用の手引き」作成
- ・「救急医療情報キット」の普及啓発
- ・消防本部と多職種合同研修会開催



三重県新型コロナウイルス感染症発症状況

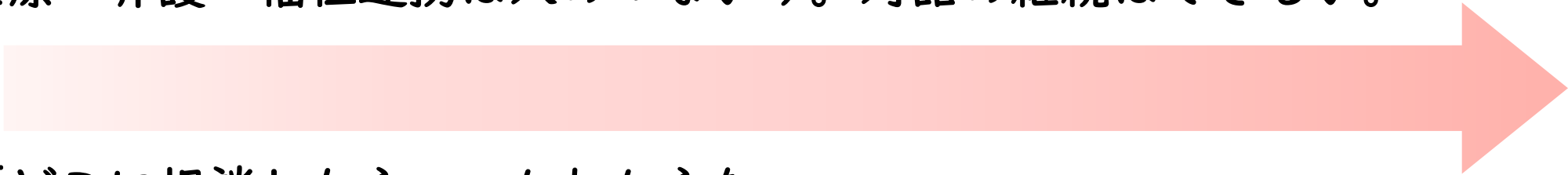
三重県ホームページより引用

発生件数（10月31日まで）



医療・介護連携拠点として・・・

- ◆ COVID19対策に必要な「情報共有」はできているか。
- ◆ ICTを活用した会議や研修が増加する？対応できるか。
- ◆ 医療・介護・福祉連携は人のつながり。対話の継続はできるか。

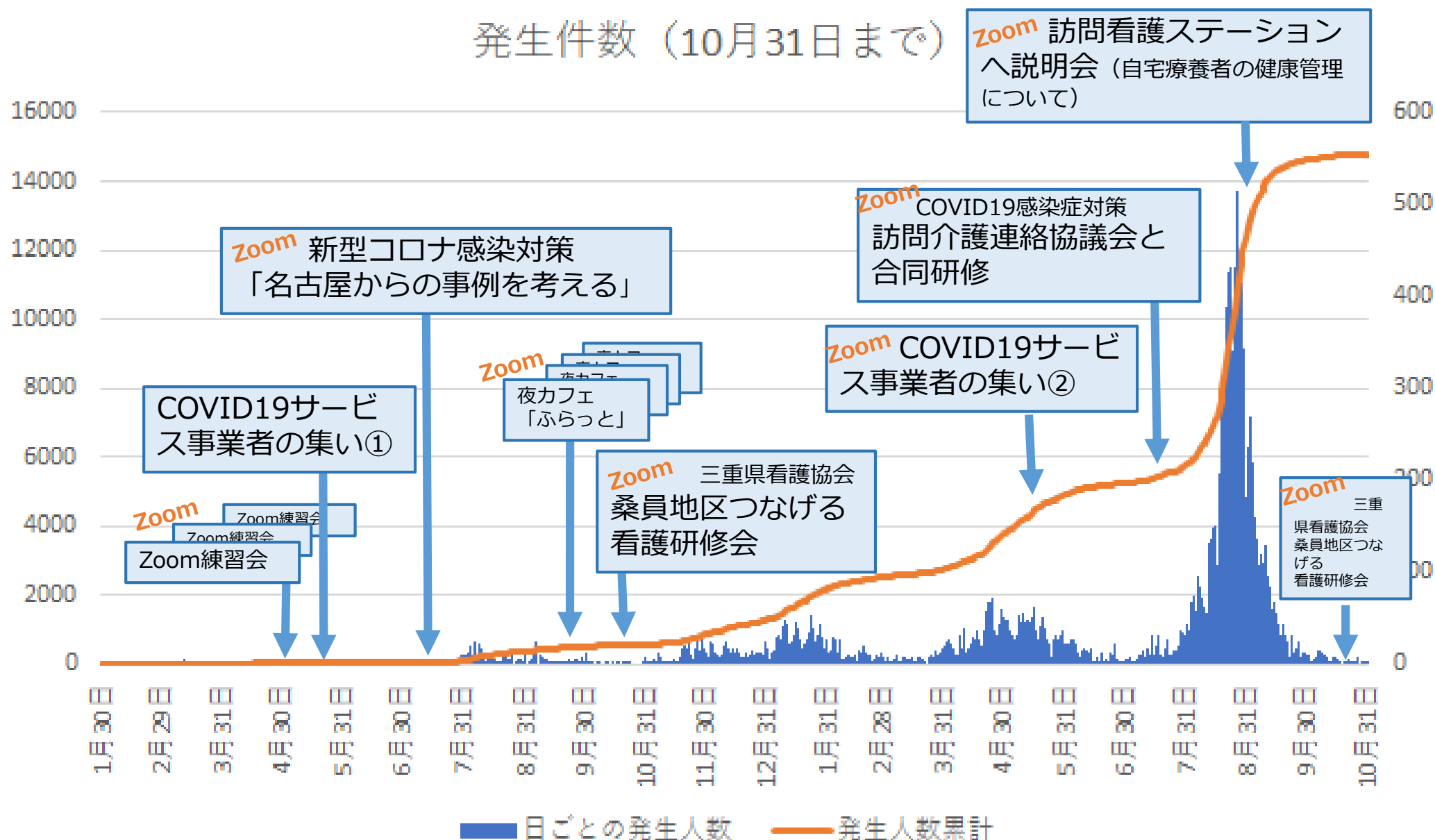
- 
- ◆ 「どこに相談したらいいかわからない」
地域課題の解決に向けて、行政、専門職間の連携システムの構築
 - ◆ 「顔の見える関係づくり」から「信頼できる関係づくり」
“今こそ必要” 多職種交流会再開への声

「今できること、求められていること」を具体的な取組みにつなげる

三重県新型コロナウイルス感染症発症状況

三重県ホームページより引用

発生件数（10月31日まで）



課題抽出と対応策の検討

「COVID19在宅サービス事業者の集い」を開催

COVID19感染対策に対する現状や課題を共有

参加者：行政、訪問通所系サービス事業者の代表

第1回 令和2年4月24日 18:00～19:00

《共通課題》

● 正確な情報をタイムリーに得たい

⇒⇒同じような質問はQ&A方式で桑名市ホームページで公開

⇒⇒ゆめはまネット

「緊急時に備えて!!新型コロナウイルスに関する桑名市からの事務連絡」①～⑬を掲載



(その他)

○休業要請、感染者が出た場合に通所介護事業所ごとの対応がどうなるかわからない。

○休業により生活継続のための支援が必要な高齢者が発生し、混乱が予測される。

通所介護事業所のサービス提供状況の把握

目 的

陽性者が発生した等の緊急時でも、利用者の生活継続に必要な支援を行えるよう事業所間の連携に活用する

方 法

市と協働で新型コロナウイルス感染症対策についてアンケートを実施

●対象 桑名市内の通所介護・通所リハビリ 68 事業所

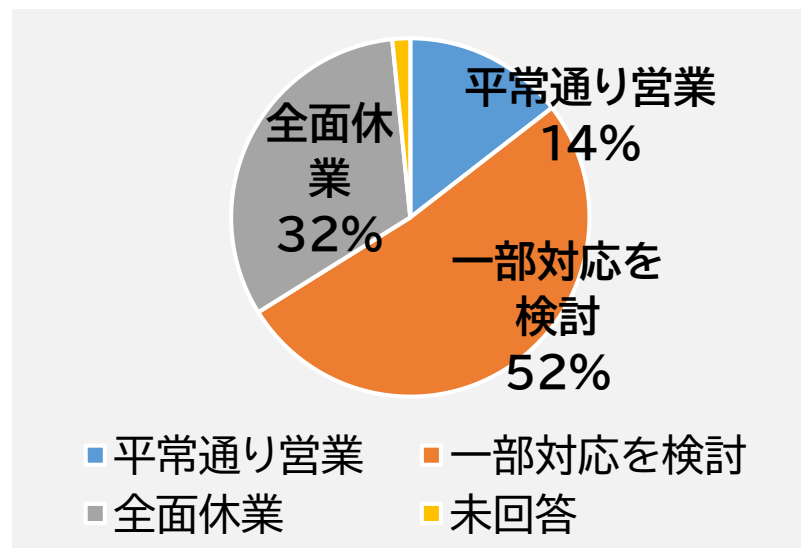
●方法 FAX

●実施 令和2年10月

●結果 アンケート回答率 91.1%

概要、各事業所の回答をゆめはまネットに掲載

問：市および県から休業要請があった場合
（自事業所に陽性者なし）はどう対応しますか



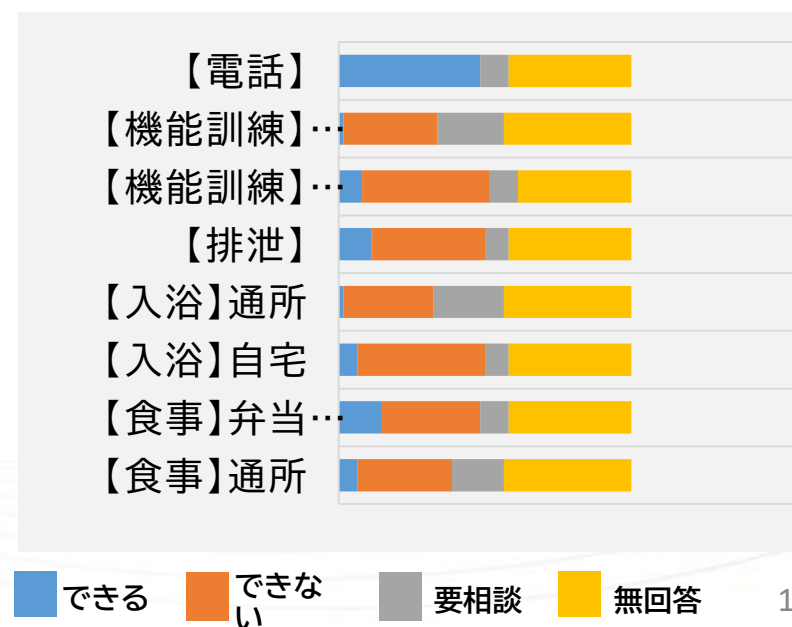
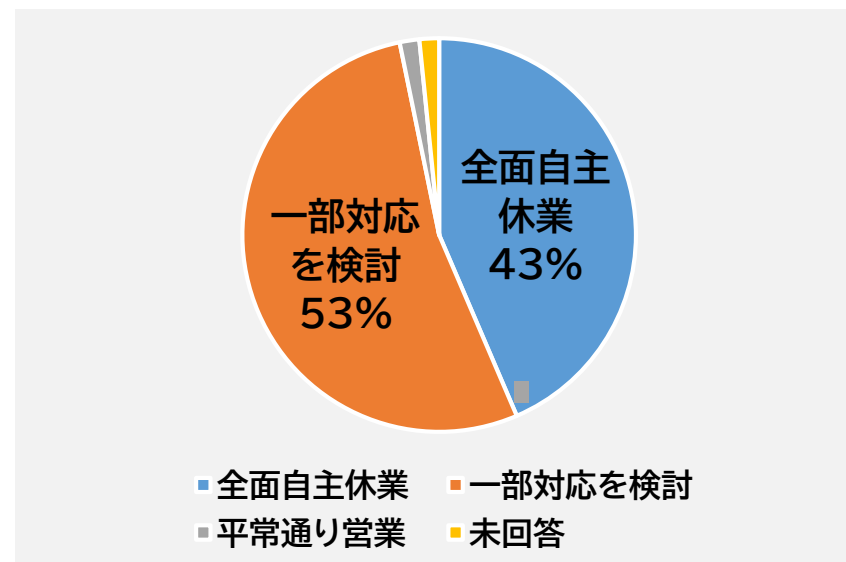
要請時点の状況によって対応は異なると思います

要請内容を精査して判断します（内容、目的、基準、補償、期限など）

利用者・家族様とも相談しながら、不可欠なサービス内容について検討します

優先順位の高い方を対象にします

問：自事業所内の利用者、職員に陽性者が出た場合等についてどう対応しますか



「COVID 19 在宅サービス事業者の集い」を開催

第2回 令和3年5月25日 18:00～19:00

《共通課題》

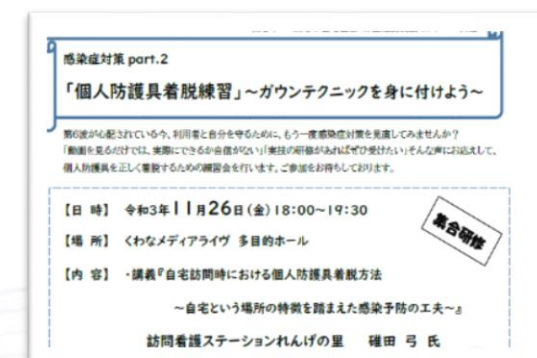
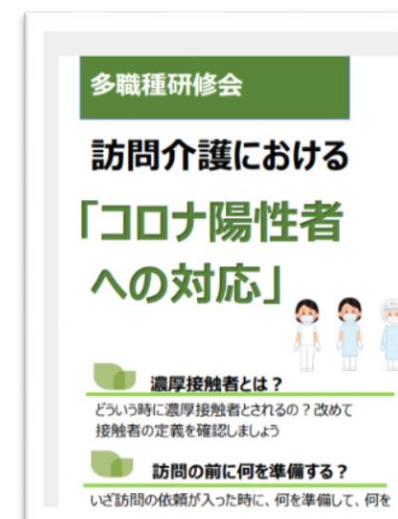
●職員のワクチン接種を早くして欲しい

⇒ 介護高齢課から現状をワクチン会議で伝達

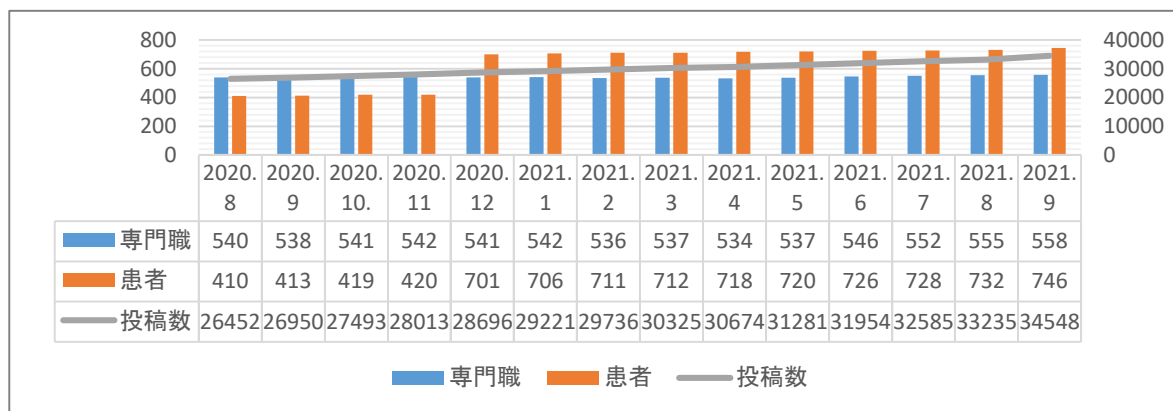
●陽性者へ訪問が必要になった時が心配

⇒ 訪問介護連絡協議会と合同研修（7月）

⇒ 桑名市と共催 個人防護具着脱練習（11月）



ゆめはまネット活用状況



登録施設数 652 (2021.11.10)

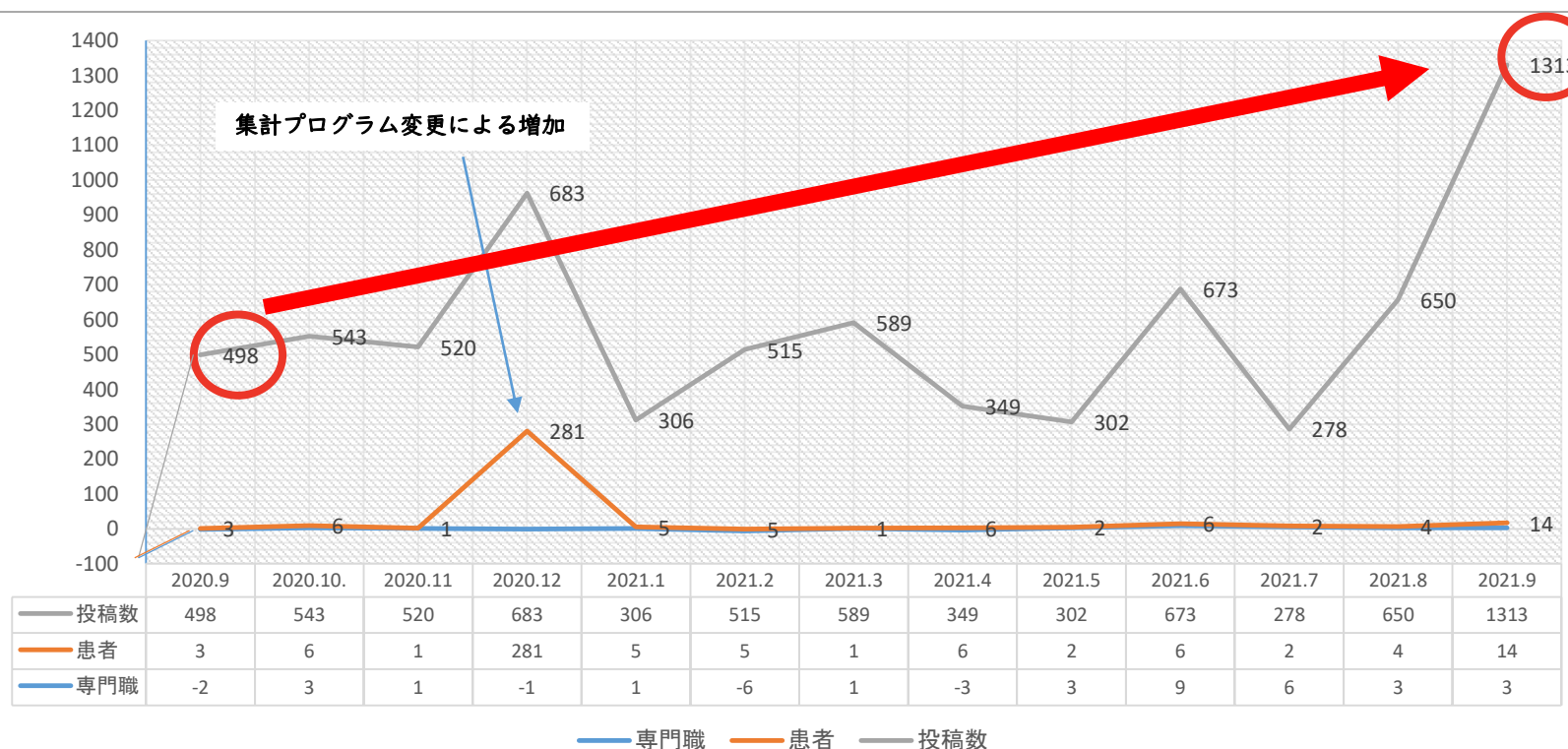
健康ケア教室 21

通いの場 96 含む

★連携可能施設
(医療・介護・行政等)

4月から
10施設増

262



記事投稿数は
1年で
2.6倍

「最期の時を住み慣れた場所で迎えるという選択」

ができるまちを目指して

